

2021年度

事業報告書

特定非営利活動法人 市民科学研究室

1 事業の成果

- ・「高木仁三郎市民科学基金」の助成を用いた事業を推進（下記「助成による事業」参照）
- ・連続講座「日本の市民科学者その系譜を描く」、市民科学入門講座、「食と農の市民談話会」「TV 科学番組を語り合う」、「著者に尋ねる」などオンラインを主とした講座を70回
- ・電磁波、デジタル機器、食、市民調査、化学物質、過敏症などに関する講演、取材、インタビュー、論文執筆、計測及び報告書作成など30数件
- ・(株)アイカムと共同での連続映画上映会を2回実施
- ・電磁波、科学コミュニケーション、低線量被曝、食、熱とくらし、アーカイブに関する調査研究を実施（研究会の総回数30回程度）

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【1,096】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
科学に関する市民講座の事業 技術連習の事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市民科学講座（合計70回） <ul style="list-style-type: none"> *市民科学入門講座:21回（4/5の第19回～3/13の第39回） *TV科学番組を語り合う:26回（4/7の第11回～3/23の第36回） *連続講座「日本の市民科学者その系譜を描く」（昨年度からの続きで）6回 *著者に尋ねる:4回（6/16, 7/21, 8/18, 10/27） *食と農の市民談話会:10回（6/6の第1回～3/15の第9回、12/21放談会） *科学時事・科学論文を読む:2回（2/28の第1回と3/28の第2回） *ICRP新勧告シンポジウム第1回（3/29） ●主催イベント <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック会場まち歩き 6/26 ・味噌づくり講座 2/6 ●大学講義 <ul style="list-style-type: none"> 昭和女子大 6/17, 7/1（市民調査について）、東京理科大 7/7（食問題） ●講演、講師依頼 <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷中央図書館「自分で調べるワークショップ」（12/12） ・子ども料理科学教室 7/25 海老名市, 11/27 江東区 ・講演: <ul style="list-style-type: none"> 電磁波&デジタル機器問題:4/12 柏市, 6/19 神奈川ネット, 府中市 6/17, 鎌倉市 9/11, 横浜市 10/19, 藤沢市 11/10, 東京都 12/26, 府中市 1/23, 小平市 1/30, 横須賀市 2/13, 3/19 座間市 ●共催イベント <ul style="list-style-type: none"> ・アイカム映画上映会 4/10, 7/24 	多数	オンラインが主、随時法人事務所を使用	35人	科学技術に関心のある市民多数	多数	317

科学に関する技術連調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ●研究会…各研究グループが平均して毎月1回実施（その他打ち合わせなども多数あり） ●外環被害聞き取り調査 12回（8月～12月）【下記「助成による事業」に記載】 	4月より随時	法人事務所など	20人	学会関係者、科学技術に関心のある市民	200程度	54人
科学に関する技術連提援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●取材：外環問題 1/6, 化学物質 8/25, 市民調査 4/21, クレヨンハウス(デジタル機器) 3/15 ●計測活動・報告書作成 電磁波計測(7回) 5/8, 7/14, 7/16, 8/2, 1/27, 2/20, 3/30 振動計設置(5回) 12/16, 12/24, 12/30, 2/3, 3/2 放射線計測指導(1回) 12/15 	4月より随時	法人事務所ほか	15人	集会参加者ら、都議会ならびに市議会議員ら	150程度	14人
科学に関する技術連出版物、ホームページなどによる事業	<ul style="list-style-type: none"> ●機関誌『市民研通信』4号分(62号から65号) ●ホームページにおける講座・イベントなどの告知および会員募集などの広報活動多数 ●新年交流会(オンライン): 1/9 	4月から3月まで	法人事務所	40人	会員及び科学技術に関心のある市民	多数	171人
助成による事業	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年度「高木仁三郎市民科学基金」の助成を受けて、2020年10月に起きた調布市での陥没事故の現場周辺地域の住民らとで「外環振動・低周波音調査会」を結成し、外環道大深度工事で発生した振動・騒音・低周波音による被害の実態把握とそれへの対策に関する調査を実施した(継続中)。 	8月から3月まで	調布市つつじヶ丘周辺地域での現地調査、法人事務所およびオンラインを用いた多数の会合	20人	被害地域を中心とする外環道エリアの住民	200程度	540人